



2016 -2017 年度

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム「人類に奉仕するロータリー」

第2560地区ガバナー：田中 政春「基本を学び、地域と共に」

三条北ロータリークラブテーマ

「ロータリアンの深い絆と躍動感あるロータリークラブへ」

会 長：金子太一郎

幹 事：佐藤 秀一

SAA：羽賀 一真

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP:<http://www.sajo-nrc.org>

AD: north@sanjo-nrc.org

本日の行事：社会奉仕事業

葛西紀明氏講演会

「夢は、努力でかなえる」

◆本日の出席：66名中48名(内記帳8名)

◆先々週の出席率：66名中53名80.30%
(前年同期80.30%)

◆先週のメークアップ：(敬称略)

9月21日三条RC 山崎 勲、中條耕二
石黒隆夫、米山忠俊

26日三条南RC 中條耕二

27日市内4RC会長幹事会

金子太一郎、佐藤秀一

◆27日の記帳受付(敬称略)

三条RC 加藤紋次郎、五十嵐晋三

石橋育於、丸山行彦、小越憲泰
山田富義、中村和彦、菊池 涉
渋谷健一、西山徳芳、中條克俊
五十嵐昭一

三条南RC 野島廣一郎、吉沢栄一

松崎孝史、長谷美津明

星野健司、石山昌宏

会員の皆様へ：金子太一郎会長

御 礼

先日、開催されました、葛西紀明選手「夢は努力でかなえる」 青少年育成講演会では、皆様の多大なるご協力で、無事終了できましたこと、誠にありがとうございました。

来場者の数は、想定を下回りましたが、講演会の内容は大変素晴らしい内容だったと思います。一番のサプライズは、葛西選手がソチオリンピックで獲得した銀メダルと銅メダルを会場にいる方に、回しながら触らせて感触を持ってもらったことです。私自身、初めて触らせてもらい、かなり重量があるのだと感じました。選手ならではの裏話を、ユーモアを持って話していただき、また家族の悲しいお話や、最近のおめでたい話など、かずかずお話していただきました。

当クラブの会員の方からは、会場の入り口の整備や誘導などご協力ありがとうございました。また、渡辺社会奉仕委員長の念密なスケジュール作成や進行、また社会奉仕委員の方のポスターやチラシ配りなど、ありがとうございました。

前夜祭の食事から、意気投合して大分緊張が解れたと葛西選手がおっしゃっていました。葛西選手のまた違ったある一面が見えたのも、良かったと思います。

私自身講演会が終わってみて、メダルを取ったような気分で終了することができました。

会員の皆様、誠にありがとうございました。



社会奉仕事業：青少年育成講演会

講師：葛西紀明氏

2016年9月24日（土）13：30～

会場：燕三条ワシントンホテル

入場者：350人

講師プロフィール：

1972年6月6日北海道下川町生まれ

土屋ホーム（スキー部選手兼任監督）

16歳ワールドカップ初出場

19歳オリンピック初出場以来7大会連続出場、

団体個人で計3個のメダル獲得

ギネス世界録認定：ワールドカップ最年長優勝・冬季五輪7大会連続出場・冬季五輪スキージャンプ最年長メダリスト・ワールドカップ最多出場・ノルディックスキー世界選手権最多出場

計5つのギネス世界記録ホルダー

2016年FISスキージャンプワールドカップで前人未到の500試合出場達成



夢は、努力でかなえる

始めに41歳で迎えたソチ五輪で獲得した銀・銅メダルを紹介「皆さんのパワーを頂きたい」と2つのメダルを客席に回して頂き、来場者は感激し、「皆さんのパワーを頂いて又、頑張ります」と言って頂きました。

小学3年でスキージャンプを始め小学、中学とほぼ負け無しでしたが、初めて出場した、アルペールビル五輪は失敗の連続「悔しいオリンピック」だった。

リレハンメル五輪の団体戦は優勝目前だったが、アンカーの原田選手の失速でまさかの銀メダル。

長野五輪では団体メンバーに選ばれなかったが日本が金メダル獲得。目の前で見ていてスキー人生で一番悔しかった。「原田選手、腹立つなど」「原田選手本当は高所恐怖症」と言いながら原田選手との中の良いさをユーモアたっぷりに話された。

2回目の怪我が治ってからは恐怖心が消えるまでに10年かかった。ドーピング検査はいつ、何処でもあるため、いつも所在は届けておかなければならない。

実家の火災や母親の死、難病の妹の死や怪我等を乗り越えて目標を達成した「夢は努力でかなえられる」と強調。

ソチ五輪は40歳を越えて2つのメダルを取る事ができ、『レジェンド』という冠も付けて頂きました。

2014年は素晴らしい年でしたが、ただ流行語大賞は「だめよ、だめだめ」でした、と笑顔でした。

まだ五輪の金メダルを持っていない。2018年の平昌五輪では家族の目の前で金メダルを獲得したい。

今後の目標は50歳まで頑張ると言ってきましたが、2026年の冬季五輪を札幌が招致している。もし札幌で開催されるとしたら54歳になっているが、是が非でも出たいと語り会場から大きな拍手で終わりました。

講演終了後、葛西選手のサイン色紙を抽選で来場者にプレゼントして頂きました。







閉会挨拶
「偉大な現役選手が三条で講演して下さったことを幸栄に思っています」
地場産の包丁を記念品としてお持ち帰り頂きます。

進行：
渡辺社会奉仕委員長



レジェンドの言葉に感動

スーパージャンプ選手の葛西紀明さんの講演「夢は、努力でかなえる」を聞きました。貧乏で病弱だった葛西少年が、周りの人の協力と一億圓で来たトレーニングによって、トップ選手になっていきます。豊富ユーモアと熱い魂の言葉、なエピソードで観衆中の緊張感や恐怖心の克服など、さりました。

そして、五輪で獲得されたメダルまで、会場みんなに触らせてくださったのです。その重さや輝きはまさに努力のたまもの、本当に感動しました。

講演後、燕三条駅でまさかの遭遇。すうすうしくも声をかけたころ、握手と笑顔でカメラにも収まっていたあの神対応。手を振りました。レジェンド、最後まで感動をありがとうございました。

9月30日の新潟日報に投稿がありました。
講演に感動し、講演後に葛西選手と燕三条駅で遭遇したときの神対応に最後まで感動をありがとうございました。と結ばれています。